



3月を旧暦では「弥生(やよい)」といいます。弥には「いよいよ」、生には「生い茂る」という意味があり、草木が生い茂る春の訪れを表しています。3月は色々な花も咲き始め、私たちの目を楽しませてくれますね。



花粉症シーズン到来!!

この時期つらい花粉症。みなさんは花粉症の症状が出た時、ご自身で判断し、市販薬などで対処していませんか？花粉症症状の出方や重症度は、人によって異なります。薬の効果にも個人差があります。また、花粉症の原因はスギ花粉と思われがちですが、人によっては他の花粉が原因の場合もあります。つらい花粉症の症状をしっかり抑えるためには、**きちんと医療機関で診断を受けて、ご自身に合った治療を行うことが大切です。**

～問診を通じて最適な花粉症治療を～



医療機関では問診を通じて、症状の度合いや治療時期をはじめ、例年の症状の出方やご自身のライフスタイルを考慮し、総合的に判断した上で数ある薬の中から最適な薬を選び出してくれます。また、薬には少なからず副作用があります。医療機関ではその副作用の影響も考え処方してくれるので、より安心して治療を受けることができます。症状や薬について気になることがあれば相談し、治療の見直しなどを行い、より自分に合った治療を見つけていきましょう。



当院の耳鼻咽喉科の診療は下記の通りです。
【毎週金曜日】午前 9:00～12:00 / 午後 14:30～17:30
(初めてのの方は診療終了時間の30分前までに受付を済ませて下さい。)
ご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。
さくらのクリニック(耳鼻咽喉科) ☎0285-37-1221

自分でできる花粉症の予防策

自分でできる予防策として一番重要なのは、花粉を体内に取り込まないようにすることです。

①花粉の侵入を防ぐメガネやマスクを着用する。

(正しいマスクのつけ方は、さくらの便りVOL.130をご参照ください。)

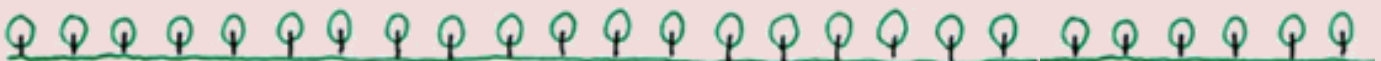
②花粉がつかないように、布団や洗濯物は室内に干す。

③衣類についた花粉を家の中に持ち込まないように、玄関に入る前に花粉を払い落とす。

④髪や皮膚についた花粉は、払っただけではなかなか取れません。帰宅したらすぐシャワーを浴びることで、全身の花粉の除去ができます。

このように、なるべく花粉を取り込まないようにすることで、症状の軽減が期待できます。

どれも簡単にできることですので、症状が重くなる前に、是非お試し下さい。





入所部門では、豆に見立てた赤玉で職員扮する**赤鬼**を退治しました。

入所部門



福はうち～



鬼は外～

節分を行いました。

鬼は外～



通所部門

通所部門では、職員による劇の披露をしました。利用者様数名にも参加していただき、とても楽しい劇になりました。ご協力いただいた利用者の皆さん、ありがとうございました。



さくら野では長期入所、短期入所、通所リハビリテーションを行っております。ご利用になりたい、どんな施設なのか知りたいなど興味のある方がいましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。ご相談・ご見学などは随時おこなっておりますが、お待たせしてしまうことがございますので、事前にご連絡下さい。

ご利用・ご相談・ご見学に関するお問い合わせ

☎0285-37-1110 担当:三村・玉田



医療法人 さくら会

〒323-0061 栃木県小山市大字卒島244番地1

TEL:0285-37-1221 FAX:0285-37-1640

http://www.sakura-ac.com

施設利用に関するお問い合わせ : 0285-37-1110 担当 三村・玉田

採用に関するお問い合わせ : 0285-37-1221 担当 唐沢

さくら会 携帯サイト

